

「教職履修カルテ」作成の目的

「教職履修カルテ」は、教職に必要な資質能力に関して自分の現状を客観的に把握し、改善すべき課題と解決方法を考える手がかりにするとともに、教職へのモチベーションを高めることを目的とする。教職課程の履修を始めてから教員免許取得まで、免許取得に関する科目の学習成果や課題、介護等の体験や教育実習に関する手続き、学校支援ボランティアの活動状況などを継続して記録・整理し、自己の力量向上に役立てるものである。

「教職履修カルテ」の目次

1. 「教職履修カルテ」作成上の留意点
2. 自己評価シート
3. 教職課程の履修に関すること
4. 教職に関連する自主的な活動
5. 教育実習に関すること
6. 介護等の体験に関すること
7. 全学科・全学年共通科目（教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に規定）の履修状況
8. 教科及び教科の指導法に関する科目の履修状況
9. 教育の基礎的理解に関する科目等の履修状況
10. 大学が独自に設定する科目の履修状況

1. 「教職履修カルテ」作成上の留意点

(1) 記入・整理に関する注意

①自己評価シート

4月及び10月の時点で、直近の概ね半年間の教職に関する学習活動等を振り返り、教職に必要な資質能力について自己評価し、該当する数字に○を付ける。

自己評価をもとに、現在の自分が改善すべき課題を具体的に明快な文章で記す。

②教職課程の履修に関すること

教職課程説明会や採用試験対策講座などで入手した資料を整理して綴じる。

③教職に関連する自主的な活動

学校支援ボランティアやその他のボランティア活動など、教職に関連のある活動に自主的に取り組んだ事実を記入する。（採用試験出願時の自己推薦書の作成に活用可能。）

④教育実習に関すること

教育実習開始までの手続きに関する資料等を綴じる。

⑤介護等の体験に関すること

介護等の体験開始までの手続きに関する資料等を綴じる。

⑥各科目の履修状況

単位を修得した科目についてのみ記入し、免許取得に必要な単位の充足状況を確認する。

学習成果及び今後の課題については、自分の現状を把握して今後の学習意欲を高めるために、より具体的で明快な文章で記す。

(2) 提出等に関する注意

記入の不備等を点検し、4月及び10月の指定された期日までに各学科担当者に提出する。

2-1. 自己評価シート

(1) 必要な資質能力についての自己評価

1.全くできていない 2.あまりできていない 3.どちらかといえばできている 4.よくできている

新規採用時に求められる資質能力			自 己 評 価					
領域	ステージごとの資質能力	目 標	2 年次		3 年次		4 年次	
			4 月	1 0 月	4 月	1 0 月	4 月	1 0 月
確かな指導力	授業をつくる力	学習指導要領をもとに教材研究を行う基礎的な知識・技能を身に付けている。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
		教材研究に基づいて学習指導案を作成することができる。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
		作成した学習指導案に沿って適切に授業を進めることができる。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
		学習の基盤となる学習規律を確立して授業を進めることができる。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
		自他の授業を振り返り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業に生かすことができる。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
		新たな教育課題やカリキュラム・マネジメントについて基礎的な知識を身に付けている。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
		I C T活用について基礎的な知識・技能を身に付けている。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
	生徒指導・教育相談・生徒理解の力	生徒指導・教育相談の基礎的な知識を身に付け、生徒との信頼関係を築くことの重要性を理解している。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
	学級(HR)経営の力	適切な生徒理解に基づいて、学級(HR)の規範意識を高め、望ましい集団づくりを行うための基礎的な知識を身に付けている。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
		安全・安心な教育環境を確保するための基礎的な知識を身に付けている。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
	教育課題を解決しようとする力	地域の実態や学校の教育課題を理解し、課題解決に向けて取り組む意欲がある。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
人つな関係が係る力・	コミュニケーション力	様々な人と協力・連携する中で、多様な考え方を受け入れつつ自分の考えを伝えたり、良好な人間関係を築いたりすることができる。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
		組織の中での役割を理解したり、互いの仕事や健康について相談したりすることができる。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
教育に対する揺るぎない情熱	教職への思い	教育への夢と希望を持ち、生徒の成長のために教育に携わる意欲がある。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
		教育的愛情を持って、本気で生徒と関わることができ、教員としての喜びや意義を見込んでいる。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
		生徒一人一人の良さを認めて、生徒のやる気を引き出すことができる。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
	社会人としての自覚	社会人としての自覚を持って自己を律することができる、法令等を遵守している。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
		チームの一員として役割を自覚し、協働して課題解決に取り組むことができる。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
	向上心	広い教養を備え、人間的魅力を高めようとする意欲がある。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
		多様な経験を積む中で、絶えず自分の取組を振り返り、次の課題解決に生かすことができる。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4

※ 評価シートは、岡山県教員等育成指標(平成29年12月策定, 令和3年3月一部改訂)において新規採用時に求められる資質能力に基づいている。

2-2. 自己評価シート

(2) 教職を目指す上で課題と考えている事項

年次	月	事 項	教員確認
2 年	4 月		
	10月		
3 年	4 月		
	10月		
4 年	4 月		
	10月		

3. 教職課程の履修に関すること

- ・ 中等及び各学科の教職課程説明会等で配付された資料を綴じる。
- ・ 参加した採用試験対策講座などの資料を綴じる。
- ・ その他教職に関する資料を綴じる。

[illegible]

5. 教育実習に関すること

- ・実習希望校の依頼に関する資料や配付物等を綴じる。
- ・教育実習に関する詳細や資料等は「教育実習日誌」に記入・整理する。

6. 介護等の体験に関すること

- ・ 体験開始までの手続きに関する資料等を綴じる。
- ・ 体験に関する詳細は「介護等の体験記録」に記入する。
- ・ 体験終了後，授業担当者から返却された体験記録を綴じる。
- ・ 体験終了の証明書のコピーを綴じる。（原本は免許状申請時まで別に保管する。）

7. 全学科・全学年共通科目（教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に規定）の履修状況

免許法施行規則に定める科目	授業科目	単位数	修得年度	担当教員	学習成果及び今後の課題	備考
日本国憲法	日本国憲法Ⅰ					いずれか 選択 必修
	日本国憲法Ⅱ					
体 育	心と体の健康論					必修
	体育実技Ⅰ					いずれか 1 単位 選択 必修
	体育実技Ⅱ					
	体育実技Ⅲ					
外国語コミュニケーション	Intensive English					必修
情報機器の操作	ICT リテラシ					必修

8-1. 教科及び教科の指導法に関する科目の履修状況 - 中学校・高等学校(英語) -

(1) 教科に関する専門的事項 (その1)

各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	修得年度	担当教員	学習成果及び今後の課題	備考
英 語 学	英文法Ⅰ					いずれか 選択 必修
	英文法Ⅱ					
	英語学概説					必修
英語文学	英国文学史Ⅰ					必修
	英国文学史Ⅱ					必修
	日英比較文学史					
英語コミュニケーション	Intensive English					必修
	Practical English					必修
	English Presentation					必修
	Project Based English					

8-2. 教科及び教科の指導法に関する科目の履修状況 - 中学校・高等学校(英語) -

(1) 教科に関する専門的事項 (その2)

各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	修得年度	担当教員	学習成果及び今後の課題	備考
異文化理解	グローバル社会論基礎					必修
	多文化共生論基礎					必修
	表象文化論基礎					必修
	国際社会学					
	言語文化論					
	多文化共生政策					必修
	国際地域情報 I					必修
	Studies of Globalization					
	Studies of Multiculturalism					
	Cultural Representation Studies					
	Language and Culture Studies					

8-2. 教科及び教科の指導法に関する科目の履修状況　－中学校・高等学校(英語)－

(2) 各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）

各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	修得年度	担当教員	学習成果及び今後の課題	備考
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	英語科教育法A					必修
	英語科教育法B					必修 (中)
	英語科指導法演習A					必修
	英語科指導法演習B					必修 (中)

8-3. 教科及び教科の指導法に関する科目の履修状況 一中学校・高等学校(英語)一

(3) 教科に関する専門的事項（選択）

[illegible]

9-1. 教育の基礎的理解に関する科目等の履修状況

免許法施行規則に定める科目	授業科目	単位数	修得年度	担当教員	学習成果及び今後の課題	備考
教育の基礎的理解に関する科目	教育原理					必修
	教職基礎					必修
	学校経営論					必修
	教育心理学					必修
	特別支援教育基礎論					必修
	教育課程論					必修
道徳，総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導，教育相談等に関する科目	道徳教育の理論と方法					必修(中)
	総合的な学習の時間及び特別活動の指導法					必修
	教育方法論（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む。）					必修
	生徒指導及び進路指導・キャリア教育の理論と方法					必修
	教育相談					必修

9-2. 教育の基礎的理解に関する科目等の履修状況

免許法施行規則に定める科目	授業科目	単位数	修得年度	担当教員	学習成果及び今後の課題	備考
教育実践に関する科目	中等教育実習事前事後指導					必修
	中等教育実習[]					必修
	教職実践演習(中・高)					必修

「教職履修カルテ」作成の目的

「教職履修カルテ」は、教職に必要な資質能力に関して自分の現状を客観的に把握し、改善すべき課題と解決方法を考える手がかりにするとともに、教職へのモチベーションを高めることを目的とする。教職課程の履修を始めてから教員免許取得まで、免許取得に関する科目の学習成果や課題、介護等の体験や教育実習に関する手続き、学校支援ボランティアの活動状況などを継続して記録・整理し、自己の力量向上に役立てるものである。

「教職履修カルテ」の目次

1. 「教職履修カルテ」作成上の留意点
2. 自己評価シート
3. 教職課程の履修に関すること
4. 教職に関連する自主的な活動
5. 教育実習に関すること
6. 全学科・全学年共通科目（教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に規定）の履修状況
7. 教科及び教科の指導法に関する科目の履修状況
8. 教育の基礎的理解に関する科目等の履修状況
9. 大学が独自に設定する科目の履修状況

1. 「教職履修カルテ」作成上の留意点

(1) 記入・整理に関する注意

①自己評価シート

4月及び10月の時点で、直近の概ね半年間の教職に関する学習活動等を振り返り、教職に必要な資質能力について自己評価し、該当する数字に○を付ける。

自己評価をもとに、現在の自分が改善すべき課題を具体的に明快な文章で記す。

②教職課程の履修に関すること

教職課程説明会や採用試験対策講座などで入手した資料を整理して綴じる。

③教職に関連する自主的な活動

学校支援ボランティアやその他のボランティア活動など、教職に関連のある活動に自主的に取り組んだ事実を記入する。（採用試験出願時の自己推薦書の作成に活用可能。）

④教育実習に関すること

教育実習開始までの手続きに関する資料等を綴じる。

⑤各科目の履修状況

単位を修得した科目についてのみ記入し、免許取得に必要な単位の充足状況を確認する。

学習成果及び今後の課題については、自分の現状を把握して今後の学習意欲を高めるために、より具体的で明快な文章で記す。

(2) 提出等に関する注意

記入の不備等を点検し、4月及び10月の指定された期日までに各学科担当者に提出する。

2-1. 自己評価シート

(1) 必要な資質能力についての自己評価

1.全くできていない 2.あまりできていない 3.どちらかといえばできている 4.よくできている

新規採用時に求められる資質能力			自 己 評 価					
領域	ステージごとの資質能力	目 標	2 年次		3 年次		4 年次	
			4 月	1 0 月	4 月	1 0 月	4 月	1 0 月
確かな指導力	授業をつくる力	学習指導要領をもとに教材研究を行う基礎的な知識・技能を身に付けている。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
		教材研究に基づいて学習指導案を作成することができる。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
		作成した学習指導案に沿って適切に授業を進めることができる。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
		学習の基盤となる学習規律を確立して授業を進めることができる。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
		自他の授業を振り返り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業に生かすことができる。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
		新たな教育課題やカリキュラム・マネジメントについて基礎的な知識を身に付けている。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
		I C T活用について基礎的な知識・技能を身に付けている。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
	生徒指導・教育相談・生徒理解の力	生徒指導・教育相談の基礎的な知識を身に付け、生徒との信頼関係を築くことの重要性を理解している。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
	学級(HR)経営の力	適切な生徒理解に基づいて、学級(HR)の規範意識を高め、望ましい集団づくりを行うための基礎的な知識を身に付けている。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
		安全・安心な教育環境を確保するための基礎的な知識を身に付けている。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
	教育課題を解決しようとする力	地域の実態や学校の教育課題を理解し、課題解決に向けて取り組む意欲がある。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
人つな関係が係る力・	コミュニケーション力	様々な人と協力・連携する中で、多様な考え方を受け入れつつ自分の考えを伝えたり、良好な人間関係を築いたりすることができる。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
		組織の中での役割を理解したり、互いの仕事や健康について相談したりすることができる。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
教育に対する揺るぎない情熱	教職への思い	教育への夢と希望を持ち、生徒の成長のために教育に携わる意欲がある。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
		教育的愛情を持って、本気で生徒と関わることができ、教員としての喜びや意義を見込んでいる。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
		生徒一人一人の良さを認めて、生徒のやる気を引き出すことができる。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
	社会人としての自覚	社会人としての自覚を持って自己を律することができる、法令等を遵守している。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
		チームの一員として役割を自覚し、協働して課題解決に取り組むことができる。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
	向上心	広い教養を備え、人間的魅力を高めようとする意欲がある。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4
		多様な経験を積む中で、絶えず自分の取組を振り返り、次の課題解決に生かすことができる。	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4	1・2・3・4

※ 評価シートは、岡山県教員等育成指標(平成29年12月策定、令和3年3月一部改訂)において新規採用時に求められる資質能力に基づいている。

2-2. 自己評価シート

(2) 教職を目指す上で課題と考えている事項

年次	月	事 項	教員確認
2 年	4 月		
	10月		
3 年	4 月		
	10月		
4 年	4 月		
	10月		

3. 教職課程の履修に関すること

- ・ 中等及び各学科の教職課程説明会等で配付された資料を綴じる。
- ・ 参加した採用試験対策講座などの資料を綴じる。
- ・ その他教職に関する資料を綴じる。

5. 教育実習に関すること

- ・実習希望校の依頼に関する資料や配付物等を綴じる。
- ・教育実習に関する詳細や資料等は「教育実習日誌」に記入・整理する。

6. 全学科・全学年共通科目（教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に規定）の履修状況（その 1）

免許法施行規則に定める科目	授業科目	単位数	修得年度	担当教員	学習成果及び今後の課題	備考
日本国憲法	日本国憲法Ⅰ					いずれか 選択 必修
	日本国憲法Ⅱ					
体 育	心と体の健康論					必修
	体育実技Ⅰ					いずれか 単位 選択 必修
	体育実技Ⅱ					
	体育実技Ⅲ					

6. 全学科・全学年共通科目（教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に規定）の履修状況（その 2）

免許法施行規則に定める科目	授業科目	単位数	修得年度	担当教員	学習成果及び今後の課題	備考
外国語コミュニケーション	英語ⅠA					いずれか2単位選択必修
	英語ⅠB					
	英語ⅡA					
	英語ⅡB					
	英語ⅢA					
	英語ⅢB					
	英語ⅣA					
	英語ⅣB					
情報機器の操作	ICT リテラシ					必修

7-1. 教科及び教科の指導法に関する科目の履修状況 ー高等学校(情報)ー

(1) 教科に関する専門的事項 (その1)

各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	修得年度	担当教員	学習成果及び今後の課題	備考
情報社会 ・情報倫理	ICT リテラシ					必修
	デジタル社会と倫理					必修
コンピュータ ・情報処理 (実習を含む。)	プログラミング入門Ⅰ					
	プログラミング入門Ⅱ					
	プログラミング演習					必修
	実践プログラミング					必修
	データ構造とアルゴリズム					必修
	コンピュータアーキテクチャ					必修
	システムソフトウェア					必修
	データ解析入門					必修

7-2. 教科及び教科の指導法に関する科目の履修状況 ー高等学校(情報)ー

(1) 教科に関する専門的事項 (その2)

各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	修得年度	担当教員	学習成果及び今後の課題	備考
コンピュータ・情報処理 (実習を含む。)	多変量解析					
	データマイニング					
	地理情報システム					
	時系列データ解析論					
	データ分析演習 I					
情報通信ネットワーク (実習を含む。)	コンピュータネットワーク					必修
	インターネットシステム					
	情報セキュリティ					
情報システム (実習を含む。)	情報システム入門					必修
	ソフトウェアデザイン					
	データベース					

7-2. 教科及び教科の指導法に関する科目の履修状況 ー高等学校(情報)ー

(1) 教科に関する専門的事項 (その3)

各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	修得年度	担当教員	学習成果及び今後の課題	備考
情報システム (実習を含む。)	ソフトウェア工学					
	教育支援システム論					必修
	ソフトウェア開発演習					
	クラウドシステム					
マルチメディア表現・マルチメディア技術 (実習を含む。)	エンターテインメント・コンピューティング					必修
情報と職業	情報と職業					必修
	企業データ論					

7-2. 教科及び教科の指導法に関する科目の履修状況 ー高等学校(情報)ー

(2) 各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）

各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	修得年度	担当教員	学習成果及び今後の課題	備考
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	情報科教育法Ⅰ					必修
	情報科教育法Ⅱ					必修
	情報科指導法演習Ⅰ					必修
	情報科指導法演習Ⅱ					必修

7-3. 教科及び教科の指導法に関する科目の履修状況 一高等学校(情報)一

(3) 教科に関する専門的事項（選択）

[illegible]

8-1. 教育の基礎的理解に関する科目等の履修状況

免許法施行規則に定める科目	授業科目	単位数	修得年度	担当教員	学習成果及び今後の課題	備考
教育の基礎的理解に関する科目	教育原理					必修
	教職基礎					必修
	学校経営論					必修
	教育心理学					必修
	特別支援教育基礎論					必修
	教育課程論					必修
道徳, 総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導, 教育相談等に関する科目	総合的な学習の時間及び特別活動の指導法					必修
	教育方法論（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む。）					必修
	生徒指導及び進路指導・キャリア教育の理論と方法					必修
	教育相談					必修

8-2. 教育の基礎的理解に関する科目等の履修状況

免許法施行規則に定める科目	授業科目	単位数	修得年度	担当教員	学習成果及び今後の課題	備考
教育実践に関する科目	中等教育実習事前事後指導					必修
	中等教育実習Ⅱ					必修
	教職実践演習(中・高)					必修

